

## 18. 白亜化現象（チョーキング）について

建物の外壁面は経年により表面が白っぽくなることがあります。玄関ドアも同様に塗装の劣化が進行し、表面が次第に粉状になり、白っぽく粉をふいたような状態になることがあります。これを白亜化現象（チョーキング）と言います。

白亜化現象の原因は、太陽の紫外線、熱、雨水、空気中の化学物質などによるものです。塗装の膜は有機化合物でできているため、これらに長期間さらされることで、表面から少しずつ分解されてきますが、その程度によって上記のような劣化による外観変化が目立ってきて白っぽくなります。

この現象は、ドアに限らず表面を塗装している製品であれば、どんな塗装でも起きますが、周りの環境やお手入れの仕方によって進行度合いが大きく変わってくるため、こまめに製品の表面に付着した汚れをお手入れいただくことが経年劣化の進行を遅らせる上では大切です。